

製品名: FADD (リン酸化 Ser191) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04653**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ねずみ
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	25kDa

抗原情報

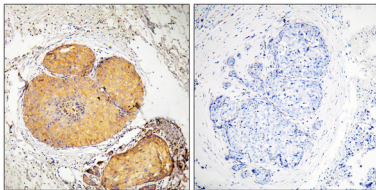
遺伝子名	FADD
別名	FADD; MORT1; GIG3; Protein FADD; FAS-associated death domain protein; FAS-associating death domain-containing protein; Growth-inhibiting gene 3 protein; Mediator of receptor induced toxicity
遺伝子 ID	14082.0
SwissProt ID	
免疫原	抗血清は、マウス FADD 由来の Ser191 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 157-206

背景

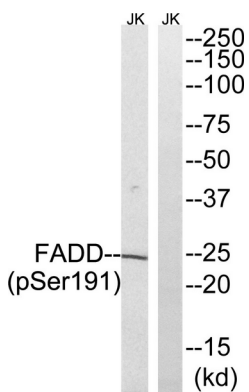
FADDによってコードされるデスドメインを介して結合する Fas は、様々な細胞表面受容体と相互作用し、細胞アポトーシスシグナルを媒介するアダプター分子です。このタンパク質は、C末端デスドメインを介して TNFRSF6/Fas 受容体、腫瘍壊死因子受容体 TNFRSF25、および TNFSF10/TRAIL 受容体にリクルートされ、これらの受容体によって開始される細胞死シグナル伝達に関与します。このタンパク質がこれらの受容体と相互作用すると、N末端エフェクタードメインが露出し、カスパーゼ8をリクルートすることでシステインプロテアーゼカスケードが活性化されます。マウスを用いたノックアウト研究からも、このタンパク質が T細胞の初期発達において重要な役割を担っていることが示唆されています。

研究分野

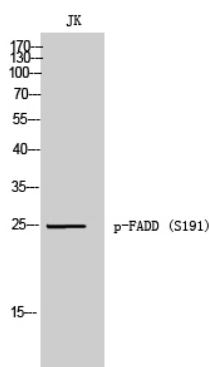
画像データ



FADD (リン酸化 Ser191) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



PMA 125 ng/ml 30分処理した Jurkat 細胞ライセートの FADD (リン酸化 Ser191) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 FADD (S191) ポリクローナル抗体を用いた JK 細胞のウェスタンブロット解析